



スーパーツインスパークシリンダーヘッド 取扱説明書

[シリンダーヘッドキット]

	S-ツーリングカム	S-レーシングカム	適応車種	車体番号
商品番号	0 1 - 0 3 - 2 2 3 2 (88cc)	0 1 - 0 3 - 1 2 3 2 (88cc)	モンキー	Z50J - 2000001 ~
	0 1 - 0 3 - 2 2 8 2 (95cc)	0 1 - 0 3 - 1 2 8 2 (95cc)		AB27-1000001 ~
	0 1 - 0 3 - 2 4 2 2 (106cc)	0 1 - 0 3 - 1 4 2 2 (106cc)	ゴリラ	Z50J-2500001 ~
	0 1 - 0 3 - 2 3 8 2 (115cc)	0 1 - 0 3 - 1 3 8 2 (115cc)		AB27-1000001 ~
				モンキーバハ・ノモンキーR除く

特 徴

シングルCDIユニットとツインイグニッションコイルを使用し、従来のスーパーヘッドにサブプラグを設けメインプラグ反対側の未燃焼ガス領域を燃焼させます。完全燃焼に近い状態を実現し、全域でのパワーアップが可能となります。特に高回転域でのパワー特性が向上します。

この度はTakegawaの製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

ご使用になられる前に必ずこの説明書をお読み戴き、内容を把握下さいませようお願い致します。

取り付け前には必ずセット内容をお確かめ下さい。万一お気づきの点がございましたらお買い求め頂いた販売店にご相談下さい。

正しく安全に御使用頂くために

- このキットは12Vノーマル点火系及び、ノーマル電装部品使用車専用です。(当社ハイパーCDI使用可)6V車、インナーローターCDI車及び、他社製点火系、電装部品使用車には取り付け出来ません。
- このシリンダーヘッドキットはすでに当社製ボアアップキット又は、ボアストロークアップキットが組み込みされているエンジン専用です。他社製部品との組み合わせは一切なさないで下さい。
- このキットはノーマルマフラー、アップタイプマフラー及び、右側出しキャブレター装着車には取り付け出来ません。
- ツインスパークヘッドピストンは、従来のスーパーヘッドピストンと互換性は有りません。ご注意下さい。
- 付属のシリンダーヘッドガスケット(メタル)には、液体パッキン等は一切塗布しないで組み付けて下さい。
- このキットにはメイン側スパークプラグが付属していません。サブ側プラグのみ付属しています。メイン側スパークプラグは、エンジン仕様に見合った熱価の物を別途お買い求め下さい。

タコメーター使用時の注意

ツインスパークスーパーヘッドに使用出来るタコメーターは次の通りです。その他の電気式タコメーターでは正常に作動しませんのでご注意下さい。

適応タコメーター

・スーパーマルチLCDメーター	: 09 01 0901
・LCDスピード&タコメーターキット	: 09 01 331
	: 09 01 332
・ラージLCDスピード、タコメーター	: 09 01 0042
・ミディアムLCDタコメーター	: 09 05 0141

⚠ 注意 この表示を無視した取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法的速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)
- ・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

⚠ 警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて頂きます。但し、修理又は、交換等にかかる一切の費用は対象となりません。正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいませようお願い致します。

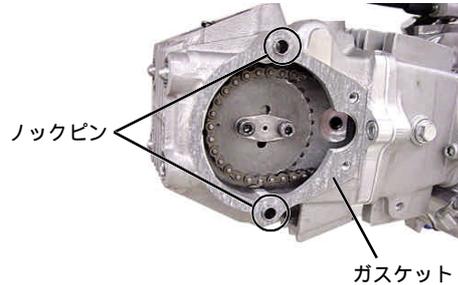
取り付け要領

【エンジン】

キャブレター、マフラー、シリンダーヘッド、シリンダー、ピストンを取り外した状態にして下さい。

1. ピストンにピストンリングを取り付け、コネクティングロッドにピストンを取り付けます。
 2. クランクケースにノックピン8×12、シリンダーガスケット、ラバーパッキンを取り付けます。
 3. クランクケースにシリンダーを取り付け、ガイドローラーを仮締めします。シリンダー、クランクケース間のボルトを仮締めします。
 4. シリンダーヘッドにカムシャフト、ロッカーアーム、ロッカーアームシャフトを組み付けます。
 5. シリンダーにノックピン8×14、シリンダーヘッドガスケット、ラバーパッキン16MM、ラバーガスケット7.5MMを取り付けます。
 6. シリンダーにシリンダーヘッドを取り付けシリンダーヘッド、シリンダー間のキャップスクリュー6×15を仮締めします。
シーリングワッシャーをスタッドボルトに入れキャップナット、六角ナットを取り付け規定トルクで締め付けます。
トルク：1.2 kgf-m (12 N-m)
シリンダー、クランクケース間のボルトを規定トルクで締め付けます。
トルク：1.0 kgf-m (10 N-m)
シリンダーヘッド、シリンダー間のキャップスクリューを取り付け規定トルクで締め付けます。
トルク：1.0 kgf-m (10 N-m)
ガイドローラーボルトを規定トルクで締め付けます。
トルク：1.0 kgf-m (10 N-m)
 7. カムプロケットにカムチェーンを掛け、キャップスクリュー5×16でカムシャフトに取り付けます。バルブタイミングを調整しキャップスクリューを規定トルクで締め付けます。
トルク：0.9 kgf-m (9 N-m)
 8. バルブクリアランスを調整します。キャップスクリュー6×25でインスペクションキャブを取り付け、スクリューを規定トルクで締め付けます。
トルク：1.0 kgf-m (10 N-m)
- バルブクリアランス (冷間時)
- | | |
|--------|----------------|
| インテーク | 0.08 ± 0.02 mm |
| エキゾースト | 0.08 ± 0.02 mm |
9. R.シリンダーヘッドサイドカバーをキャップスクリュー6×20で取り付け、スクリューを規定トルクで締め付けます。
トルク：1.0 kgf-m (10 N-m)

10. シリンダーヘッド左側にノックピン8×10を取り付け、L.シリンダーヘッドサイドカバーガスケットを取り付けます。



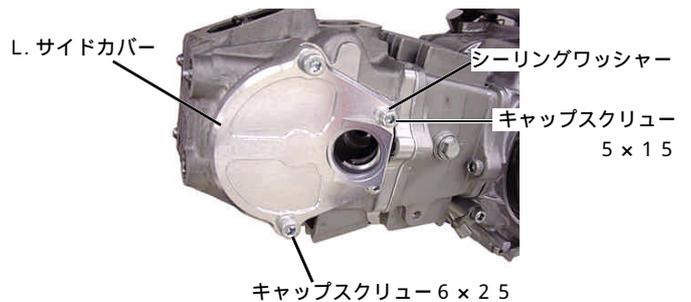
11. L.シリンダーヘッドサイドカバーを取り付け、キャップスクリュー6×25を仮締めします。キャップスクリュー5×15にシーリングワッシャー5MMを取り付け仮締めします。

キャップスクリュー6×25を規定トルクで締め付けます。

トルク：1.0 kgf-m (10 N-m)

キャップスクリュー5×15を規定トルクで締め付けます。

トルク：0.8 kgf-m (8 N-m)



12. スパークプラグスリーブにOリングを取り付け、スパークプラグの六角部がプラグスリーブの溝に合うようにセットします。Oリングにエンジンオイルを薄く塗布し、プラグスリーブをL.シリンダーヘッドサイドカバーにねじ込みます。プラグスリーブを規定トルクで締め付けます。

トルク：1.0 kgf-m (10 N-m)

オーバートルクで締め付けた場合、スパークプラグがねじ切れる可能性があります。

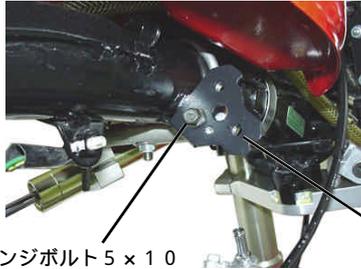
プラグスリーブを取り付ける際Oリングの噛み込みに注意し、プラグが溝から外れないようにスリーブを引っ張りながらねじ込んで下さい。



【フレーム】

1. 車両のイグニッションコイルのコードを外し、イグニッションコイルをフレームより取り外します。
2. イグニッションコイルステーをフランジボルト5×10でフレームに取り付け、ボルトを規定トルクで締め付けます。

トルク：0.8 kgf-m (8 N-m)



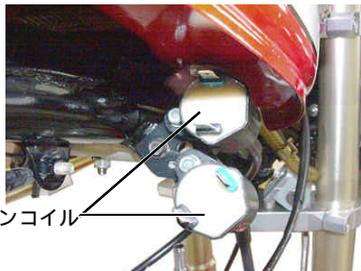
フランジボルト5×10

コイルステー

3. 付属のイグニッションコイルを上側、取り外したイグニッションコイルを下側にフランジボルト5×22で取り付け、ボルトを規定トルクで締め付けます。

トルク：0.8 kgf-m (8 N-m)

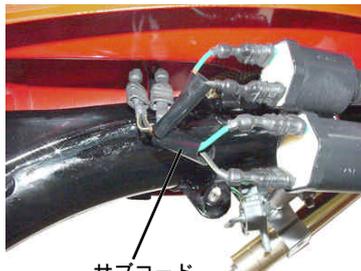
上側イグニッションコイルとフューエルタンクの間隙が少ない場合、イグニッションコイルステーを曲げて隙間を確保して下さい。



イグニッションコイル

4. イグニッションコイルサブコードをワイヤーハーネスとイグニッションコイルにそれぞれ接続します。

ワイヤーハーネス側コイルコードは、フレームパイプ上側を通して接続して下さい。



サブコード

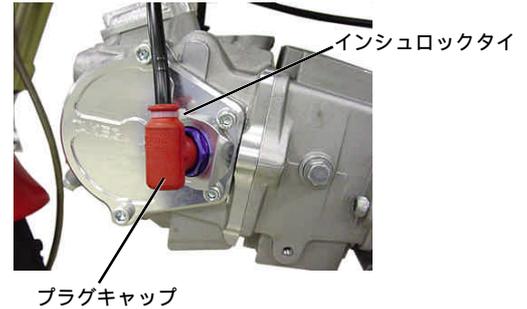
5. サブ側イグニッションコイルのハイテンションコードを適当な長さに切断し、スパークプラグキャップをねじ込みます。

プラグキャップをインシュロックタイ100MMで固定します。

プラグキャップはスパークプラグに取り付けた時、適性な位置になるよう固定して下さい。

余分なインシュロックタイは、切断して下さい。

6. プラグキャップをプラグスリーブに止まる位置まで差し込みます。



インシュロックタイ

プラグキャップ

7. メイン側スパークプラグを取り付け、プラグキャップを取り付けます。タペットキャップにブレードホースを接続し、ホースクランプを取り付けます。

ブレードホースは付属のインシュロックタイで適当な位置に固定して下さい。

取り外した部品を取り付けて下さい。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒584-0069

大阪府富田林市錦織東3丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

URL <http://www.takegawa.co.jp>